

# Amazon FSx for NetApp ONTAP

## これからはファイルサーバーもクラウドへ

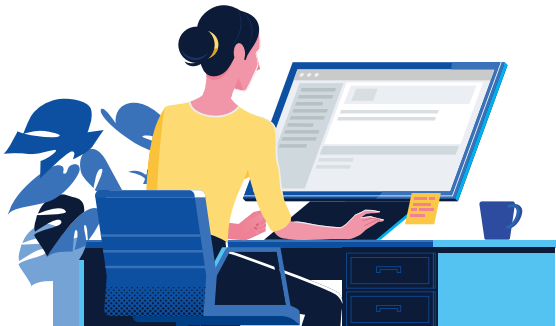
急速な勢いで増え続けているファイルの容量や数。当然ながらファイルサーバーやNASの数も増大しています。リモートワークも一般化し、それらの管理は大きな負担に。そろそろファイルサーバーも、クラウド化しませんか？

## ファイルサーバーのクラウド化ならAmazon FSx CIFSもNFSも対応できます。

### Amazon FSx の4つの特長

1

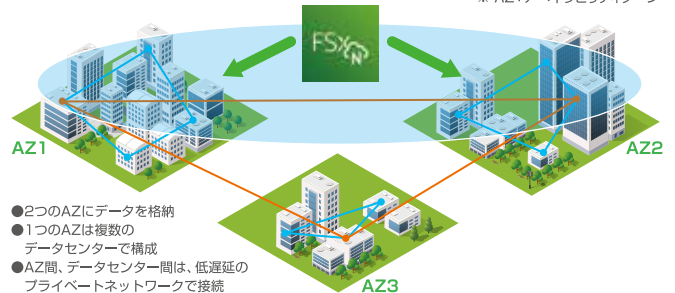
フルマネージドサービスなのでインフラはすべてAWS任せ。IT担当者の負担を軽減できます。運用管理もAWSサービスのシンプルな画面で行えます。



2

FSxはシングルAZ\*とマルチAZ\*を選択可能。AZとは、1つまたは複数のデータセンター施設で構成される、物理的・ソフトウェア的に完全に独立したデータセンターの集合単位のこと。そのため高い堅牢性を実現しており、重要なファイルも安心して保存できます。

※ AZ: アベイラビリティゾーン

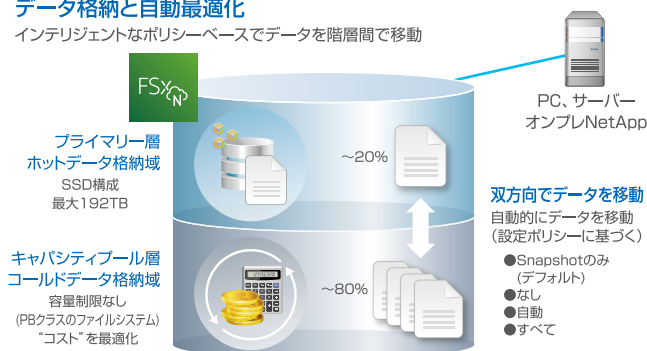


3

最新のコンピューティング/ストレージ/ネットワークを提供。容量もスピードも、要件に合わせて選択できます。またホットデータとコールドデータで異なる格納場所を用意しており、双方向での自動的なデータ移動によって、コストとパフォーマンスが最適化されるようになっています。

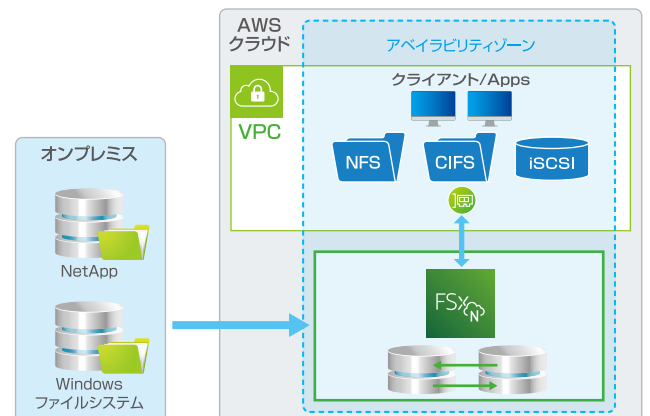
#### データ格納と自動最適化

インテリジェントなポリシーベースでデータを階層間で移動



4

CIFSもNFSもまとめてクラウド化可能。既存のオンプレミスファイルをそのまま持ち込めるので、移行の手間もかかりません。



いきなりクラウド化するのは不安？

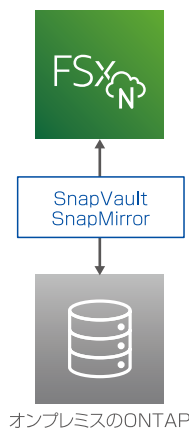
それなら4ステップでの移行をおすすめします。



## Step 1

バックアップ先や  
DRサイトとして  
利用

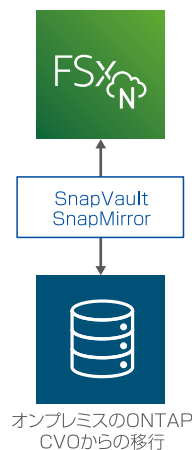
まずはオンプレミスにあるファイルサーバーのバックアップ先や、DRサイトとして利用しましょう。これによってクラウドを活用したファイル保護が可能になります。



## Step 2

メインの  
ファイルサーバー  
をクラウドへ

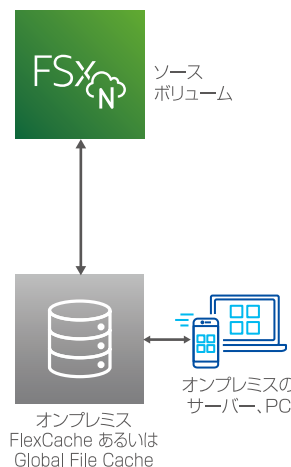
クラウド利用に慣れてきたら、社外アクセスのためのメインファイルサーバーに。オンプレミスとファイルを同期させることで、社内でも社外でも同じファイルを利用できるようになります。



## Step 3

オンプレミス側を  
キャッシュにした  
ハイブリッド型へ

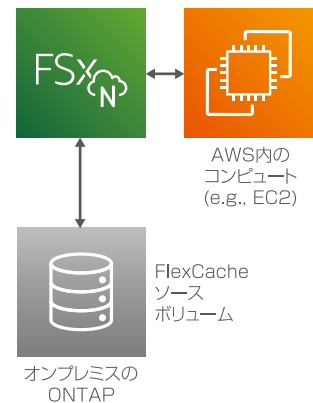
ファイルのクラウド化が進んだら、それらの処理自体もAmazon FSxをメインとしたハイブリッド型へ。オンプレミス側をキャッシュとして利用することで、ハードウェア構成を最小化できます。



## Step 4

オンプレミスの  
過剰負荷を  
クラウドで処理

オンプレミス側の処理能力が不足した場合には、一時的にAWS側に負荷を移すことで対応可能。このようなクラウドの使い方を「クラウドバースト」と言います。これによってシステム全体を柔軟に運用し、常に最適な処理能力を確保できるようになります。



Amazon FSxの円滑な導入・運用はデジタルテクノロジーがお手伝いします。

## D-Cloud Migration

オンプレミス環境からクラウド環境への移行を支援するサービスです。当社で長年培ったノウハウを活用し、ご要望をコンサルティングの上、最適な移行方式をご提案。移行作業も含めて、トータルでご支援します。



## D-Cloud Protection

オンプレミスのみならず、クラウドでもデータバックアップは欠かせません。デジタルテクノロジーには各社のバックアップソフトウェアを用いた、数多くのデータバックアップ構築の実績があります。そのノウハウを活かし、お客様環境に最適なデータバックアップソリューションをご提供します。



Amazon FSxの活用をお考えなら、ぜひデジタルテクノロジーにご相談ください。



デジタルテクノロジー株式会社

<https://www.dtc.co.jp/>

[東京] 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル  
MAIL: sales@dtc.co.jp

[大阪] 〒530-0001 大阪市北区梅田1-13-1  
大阪梅田ツインタワーズ・サウス 15F  
MAIL: osaka@dtc.co.jp